

いろいろな外傷について



済生会西条病院名誉院長
常光謙輔

■頭部の外傷

頭を打ったときに起こるのが頭部外傷ですが、単なる打撲だけとか、いわゆるたんこぶ（皮下血腫）ができただけという場合は様子を見るだけで充分です。

問題になるのは脳が挫滅する脳挫傷や、脳を包んでいる硬膜という膜の外や内側に出血する硬膜下血腫、硬膜外血腫などです。症状としては頭痛、意識障害、吐き気・嘔吐、しびれ、麻痺などが現れます。こういう時は一刻も早く病院を受診しましょう。

脳挫傷を起こして脳に傷がついたあと、てんかんなどの後遺症や脳機能障害という後遺症が残ることがありますので専門医にご相談ください。また頭を打撲した当座は何



■頸部の外傷

頸部の損傷で問題になるのは、交通事故とか自転車での散歩をしていて転倒したときなどに起こる頸髄損傷です。頸髄損傷が起こると、手足が麻痺してしまうことがあります。この場合もすぐに病院を受診しましょう。首を牽引する装具を装着したり、手術が必要な場合もあります。

■胸部の外傷

胸部を強く打撲したり圧迫されると、肋骨が折れたり、肺が破れて胸の中に空気や血液が溜まって気胸とか血胸を起すことがあります。症状としては痛みと呼吸困難です。軽いものは自然に治りますが、重症の場合には手術が必要になります。

■腹部の外傷

交通事故や労働災害などでお腹に大きな外力が加わると、胃・十二指腸・小腸などの消化管や肝臓・膵臓・脾臓などの実質臓器が破裂することがあります。消化管が破裂すると、消化液、食物、便などが腹腔内に漏れ出して腹膜炎を起こします。

腹膜炎を起こすと強烈な痛みが来ますし、腸管の運動が麻痺してガスや便が出なくなります。お腹を押さえてみると腹壁がカチカチに硬くなっているの、一般の方でも診断が付きまます。肝臓・膵臓・脾臓などの実質臓器が破裂した場合は、痛みのほか、お腹の中への出血のために血圧が下がり、貧血を起こします。

実質臓器ではありませんが、腸間膜という腸に栄養を送る血管が走っている膜があり、これが裂けた場合も大量に出血します。いずれの場合もできるだけ早く手術することが必要です。

そのほか下腹部を強く打つて膀胱が破裂したり、お腹の後ろ側にある腎臓が傷つくことがあります。血尿が出るので診断が付きまます。膀胱が破れると手術が必要です。腎臓がひどく傷ついて出血が多い場合も手術が必要です。

以上、頭から順番に膀胱までの外傷について、簡単に説明させていただきます。

外傷の症状によっては、速やかに受診しましょう。



小児救急医療電話相談

夜間に突然、お子さんの身体の具合が悪くなった時「どうしよう…」と困ったことはありませんか。小児救急医療電話相談では、看護師や医師などが家庭での応急処置の方法などについてアドバイスします。

- 相談時間 19時～翌朝8時（毎日）
- 電話番号 ○プッシュ回線・携帯電話：#8000 ○ダイヤル回線・公衆電話：089-913-2777
- 注意事項 ○電話による限られた情報に基づく相談であり、直接、子どもの状態を診て行う診療・治療ではありません。あくまでも相談される方の判断の参考としていただくためのものです。○医療機関の紹介を受けた場合は、必ず電話をかけてから受診するようにしてください。
- 問合せ 総合福祉センター内 地域医療課 TEL0897-52-1395